

導入編  
(ポケット版)

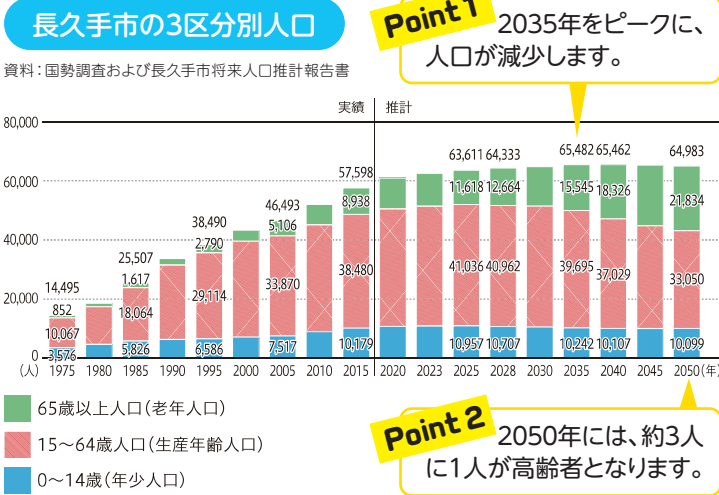
第6次  
長久手市総合計画

2019-2028

※小さく折りたためます

人口減少・高齢化・大災害。この3つは、日本全体の課題となっています。そして、遠くない将来、長久手にも必ずやってきます。

1 人口減少 2 高齢化



そうなるとうなる?

- 税金が減ります
- 社会保障に使うお金が増えます
- 独居高齢者や認知症の方が増えます

行政だけでなく、「市民の力」が必要になります

3 大災害

地震・台風・豪雨...日本各地で自然が猛威を振っています。



そうなるとうなる?

- 道路、下水道等のインフラが被害を受けます
- 避難生活を余儀なくされる方が多く出ます
- 隣同士、近所、地域での「絆」が大切になります

市内全域を行政だけでは、カバーしきれない

人口減少 高齢化 大災害

これらの課題を克服するには、行政の力だけでは限界

地域で助け合い、支え合うことが不可欠

そのための第一歩は、「つながり」づくり

つながりをつくるためには

- 市民同士がつながる機会を!
- 顔の見えるまちづくりを!
- 一人ひとりに役割のあるまちへ

その先にあるのが、「市民主体のまちづくり」

いろんなことをみんなで決めて、みんなで役割分担しながらやっぺいこう!

今、すべきこと

2050年に向け、市民主体のまちづくり文化を育む種を蒔く!

市民主体のまちに向けて その1 まちづくりの基本的なルールができました!

その名も… 長久手市みんなでつくるまち条例

まちづくりの基本となる大切なこと、みんなの役割や協力し合って進めるまちづくりの方法が書かれています。



条例をつくる過程で生まれたまち詩(うた)

ボクの家(うち) 長久手に住んで12年 じいちゃん ばあちゃん 愛犬は生まれも育ちも わがまちだ そんな わが家の団欒(だんらん)で大切なこと 考えた

ねえちゃんとボクが 願うのはいつまでも続く 青空と緑と命が守られる 住んで 遊んで 働きたい 心豊かな ふれあいには まずは あいさつ 「こんにちは!」でもボクの ともだちは言っていることは 分かるけど 理想ばかりで マジ出来る? いやがる人も いるだろう

家族が 近所が 動き出す いろんな人の いるまちには 聞く 耳もつこと 大切であの人 この人 さまざまな考え まずは認め合う 熱い決意を 胸に秘め 長久手人(ながくてびと)は 起ち上がる

みんなが知り合い 混ざり合い 関わり合って 支えあう やさしいことではないけれど 言ったコトバと 行動に 責任をもって 取り組もう

自分がまちに 出来ること 最初の一步を 踏み出そう 今ある暮らしを もっと良く キラキラ光る 長久手を 今日市民が つくるため 明日の市民に 渡すため...

さらに かあさん訴えて みんなの居場所をつくるには わずらわしいこと 多いけど 会話・対話を 繰り返す 回り道でも いいじゃない? やってみることこそ 大切で 失敗したって いいじゃない!

まち詩PR動画はこちら▶

市民主体のまちに向けて その2 「共生のまちのつくり方」そのしりぽができました!

今後10年間で、長久手市が目指すまちの姿は、ズバリ、「共生のまち」。その目指す姿と、そのためにどんなことをしていくかが書かれたのが、ながくて未来図(第6次長久手市総合計画)です。

